

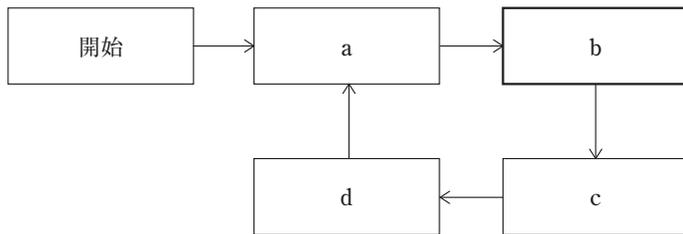
問 1 正解  完璧  直前チェック

エンタープライズアーキテクチャの参照モデルのうち、BMR (Business Reference Model) で提供されるものはどれか。

- ア アプリケーションサービスを機能的な観点から分類・体系化したサービスコンポーネントから成る、アプリケーションサービスの再利用を促進するためのモデル
- イ 業務分類に従った業務体系・システム体系と各種業務モデルから成る、組織全体で業務やシステムの共通化の対象領域を洗い出すためのモデル
- ウ サービスコンポーネントを実際に活用するためのプラットフォームやテクノロジーの標準仕様から成る、組織全体での技術の標準化を促進するためのモデル
- エ 組織間で共有される可能性の高い情報について、名称、定義及び各種属性を総体的に記述したモデルから成る、情報の再利用・統合を促進するためのモデル

問 2 正解  完璧  直前チェック

IDEALによるプロセス改善の取組みにおいて、図のbに当てはまる説明はどれか。



- ア 解決策を作り、その先行評価・試行・展開を行う。
- イ 改善活動の優先順位を設定し、具体的な改善計画を作成する。
- ウ 活動を分析してその妥当性を確認し、次のサイクルの準備を行う。
- エ 業務の現状を調査して可視化し、改善ポイントを明らかにする。

問 1 イ

解説

エンタープライズアーキテクチャ：組織全体の業務とシステムのモデル化及び改善のためのフレームワーク。組織の全体最適を進めていく活動。

BRM (Business Reference Model)：業務参照モデルでは、各部門でどのような業務やシステムが行われているかを示す業務・システム体系一覧を作成し、各種の業務モデルを整備する。業務・システム体系一覧から業務とシステムの共通化・合理化の対象領域の洗い出しを行う。

問 2 イ

解説

IDEALは、米国カーネギーメロン大学ソフトウェアエンジニアリング研究所 (Carnegie Mellon University Software Engineering Institute) から提案されているソフトウェアプロセスの改善推進モデルである。

I (Initiating：開始)、D (Diagnosing：診断)、E (Establishing：確立)、A (Acting：行動)、L (Learning：学習) の五つから構成されている

ア：Aのフェーズで実行される。

イ：Eのフェーズで実行される。

ウ：Lのフェーズで実行される。

エ：Dのフェーズで実行される。

問 3 正解  完璧  直前チェック

BI (Business Intelligence) を説明したものはどれか。

- ア 企業内外のデータを蓄積し、分類・加工・分析して活用することによって、企業の意思決定の迅速化を支援する手法
- イ 企業内の慣行などにとらわれず、業務プロセスを抜本的に再構築することによって、コスト・品質・サービス水準などを改善する手法
- ウ 企業内の業務の流れを可視化し、業務改善サイクルを適用することによって、継続的な業務改善を図る手法
- エ 企業内の異なるシステムを互いに連結し、データやプロセスの統合を図ることによって、効率よく活用する手法

問 4 正解  完璧  直前チェック

IT投資案件において、投資効果をPBP (Pay Back Period) で評価する。投資額が500のとき、期待できるキャッシュインの四つのシナリオa～dのうち、PBP効果が最も高いものはどれか。

a

年目	1	2	3	4	5
キャッシュイン	100	150	200	250	300

b

年目	1	2	3	4	5
キャッシュイン	100	200	300	200	100

c

年目	1	2	3	4	5
キャッシュイン	200	150	100	150	200

d

年目	1	2	3	4	5
キャッシュイン	300	200	100	50	50

- ア a      イ b      ウ c      エ d

問3 ア

**解説** BI (Business Intelligence) とは、企業内で蓄積された膨大なデータを、分類、加工、分析を行い、経営者や社員が専門家の手を借りずに、企業の迅速な意思決定に活用する手法のことである。BIの関連技術としては、OLAP (OnLine Analytical Processing)、レポートニング、データマイニング、データウェアハウスなどがある。

問4 工

**解説** PBP (Pay Back Period) とは、回収期間法と呼ばれる投資効果の評価方法の一つであり、投資額の回収期間の短さに着目する。

各シナリオの期待できるキャッシュインから投資額500の回収にかかる年数を計算する。

シナリオa：3.2年

シナリオb：2.66…年

シナリオc：3.33…年

シナリオd：2年

よって、選択肢エのシナリオdの投資効率が最も高い。

問 5 正解  完璧  直前チェック

IT技術動向, ソフトウェアパッケージ情報, 開発方法論などの情報提供をベンダに要請するものはどれか。

- ア IFB      イ RFI      ウ RFP      エ RFQ

問 6 正解  完璧  直前チェック

専門の事業者が提供するサービスのうち, EMSの説明はどれか。

- ア コールセンタの企画, 設計から業務運用までを一括して受託することによって, 委託元のコールセンタへの設備投資や人員調達を不要とするサービス  
 イ 人事, 経理, 総務などの業務を標準化してグループ内の1か所に集約することによって, グループ全体の間接業務のコスト削減に貢献するサービス  
 ウ 複数の電子機器メーカーから製品の設計, 製造を一括して受託することによって, 生産規模を確保し, 低コストで製品を提供するサービス  
 エ プロバイダ側のコンピュータ上でソフトウェアを稼働させて, 利用者はそのソフトウェアの機能をネットワーク経由で利用するサービス

問 7 正解  完璧  直前チェック

LBOの説明はどれか。

- ア 株式市場で一般株主に対して, 一定期間に一定の価格で株式を買い付けることを公告し, 相手先企業の株式を取得する。  
 イ 現経営陣や事業部門の責任者が株主から自社の株式を譲り受けることによって, 当該事業の経営権を取得する。  
 ウ 投資会社が, 業績不振などの問題を抱えた企業の株式の過半数を取得した上で, マネジメントチームを派遣し, 経営に参画する。  
 エ 買収先企業の資産などを担保に, 金融機関から資金を調達するなどして, 限られた資金で企業を買収する。

問5 イ

**解説**

**IFB** (Invitation For Bid) : 入札広告のこと。例えば, 省庁が一般競争入札で調達する案件の内容を「広く一般に知らせる」ことである。公告とは, 政府・公共団体・私人・私人が特定の事柄を広く一般に知らせる行為を指す。

**RFI** (Request For Information) : 情報システムの導入や業務委託を行うにあたって, 発注先候補の業者に情報提供を依頼する文書。情報システムの調達条件などを決定するための情報収集を目的に発行するもので, 一般的にはこれを元にRFPを作成し, 具体的な提案と発注先の選定に移る。

**RFP** (Request For Proposal) : 情報システムの導入や業務委託を行うにあたり, 発注先候補の業者に具体的な提案を依頼する文書。必要なシステムの概要や構成要件, 調達条件が記述されている。

**RFQ** (Request For Quotation) : 調達先・業務委託先の候補の業者に対して, 価格とその内訳を示す見積りを作成するように依頼すること。あるいは依頼文書そのもののこと。

問6 ウ

**解説** **EMS** (Electronics Manufacturing Service) は, 複数のメーカーから製品の設計や製造を受注することで, 大量に生産しコストダウンを図るサービスである。PCなどの電子機器は共通の部品が多いため, 同じ部品を大量に生産することで効率化を図ることができる。

ア : **BPO** (Business Process Outsourcing) の説明である。

イ : シェアードサービスの説明である。

エ : クラウドサービスの説明である。

問7 エ

**解説** **LBO** (Leveraged Buyout) は, 企業買収を行う際に, 買収先企業の資産や将来の収益を担保に資金調達する方式である。

ア : **TOB** (Take Over Bid) の説明である。

イ : **MBO** (Management Buy Out) の説明である。

ウ : 敵対的買収の説明である。

問 8 正解  完璧  直前チェック

PPMにおいて、投資用の資金源として位置付けられる事業はどれか。

- ア 市場成長率が高く、相対的市場占有率が高い事業
- イ 市場成長率が高く、相対的市場占有率が低い事業
- ウ 市場成長率が低く、相対的市場占有率が高い事業
- エ 市場成長率が低く、相対的市場占有率が低い事業

問 9 正解  完璧  直前チェック

コールセンタシステムにおけるIVRを説明したものはどれか。

- ア 企業ビル内などに設置して、外線電話と内線電話、内線電話同士を交換する装置
- イ 顧客からの電話に自動応答し、顧客自身の操作によって情報の選択や配信、合成音声による応答などを行う仕組み
- ウ コンピュータと電話を統合し、顧客データベースとPBXを連動させて、発呼や着呼と同時に必要な顧客情報をオペレータの画面上に表示するシステム
- エ 着信した電話を、あらかじめ決められたルールに従って、複数のオペレータのうちの1人だけに接続する仕組み

問 10 正解  完璧  直前チェック

消費者市場のセグメンテーション変数のうち、行動的変数はどれか。

- ア 社会階層、ライフスタイル
- イ 使用頻度、ロイヤルティ
- ウ 都市規模、人口密度
- エ 年齢、職業

問8 ウ

**解説** 投資用資金の面から見ると、市場成長率が低い場合は、成長が望めない代わりに新規投資はあまり必要にならないので資金に余裕がある。投資用の資金源を供給できるのは、市場成長率が低く、市場占有率が高い事業である。

問9 イ

**解説** IVR (Interactive Voice Response) は、音声自動応答装置と呼ばれ、電話の応答を自動的に行う装置である。音声やダイヤル入力に対して、あらかじめ用意した音声や合成された音声で対応する。

ア：PBX (Private Branch eXchange) に関する説明である。構内交換機と呼ばれる。

ウ：CTI (Computer Telephony Integration) に関する説明である。

エ：ACD (Automatic Call Distributor) に関する説明である。着呼自動配分機能をもつ。

問10 イ

**解説** セグメンテーションは、マーケティング対象を一部に絞り込むときの範囲を示すものである。特定のセグメンテーションに対して、効果が予想されるマーケティングを実施していく形である。セグメンテーションに用いられる変数は、人口動態変数、地理的変数、心理的変数、行動的変数である。

ア：心理的変数に該当する。

イ：行動的変数に該当する。

ウ：地理的変数に該当する。

エ：人口動態変数に該当する。

問 11

正解

完璧

直前  
チェック

マーケティング調査におけるエスノグラフィーの活用事例はどれか。

- ア 業界誌や業界新聞、調査会社の売れ筋ランキングなどから消費者の動向を探る。
- イ 広告の一部に資料請求の項目を入れておき、それを照会してきた人数を調べる。
- ウ 消費行動の現場で観察やインタビューを行い、気付かなかった需要を発掘する。
- エ 同等の条件下で複数パターンの見出しを広告として表示し、反応の違いを測る。

問 12

正解

完璧

直前  
チェック

顧客の収益が表のように見込まれるとき、3年間の顧客生涯価値(LTV)は何百万円か。  
ここで、割引率は10%とし、計算は百万円未満を切り捨てるものとする。

年間収益の単位 百万円

	1年目	2年目	3年目
年間収益 <sup>1)</sup>	50	10	10
割引係数 <sup>2)</sup>	1.0	1.1	1.2

注<sup>1)</sup> 年間収益は販売コストを考慮済み

注<sup>2)</sup> 割引係数はn年目で $(1 + \text{割引率})^{n-1}$ の値

ア 65

イ 67

ウ 70

エ 73

問 11

ウ

**解説** エスノグラフィーは、エスノ(民族)、グラフィー(記述)を指し、民族誌と訳される。消費者の定性的な情報を集め分析することで、気付かなかった需要を発掘することである。

イ：ベリード・オファーの説明である。

エ：スプリット・ランの説明である。

問 12

イ

**解説** 顧客生涯価値(LTV: Life Time Value)は、顧客からある特定の期間において収益が見込まれるとき、その利益の価値を算出する考え方である。

本問では割引係数が提示されているため、計算式は「年間収益÷割引係数」を各年で計算して合計した結果となる。

1年目  $50/1.0 = 50.00$

2年目  $10/1.1 = 9.09$

3年目  $10/1.2 = 8.33$

合計で67.42となり、選択肢イが正解となる。

問 13 正解 完璧 直前チェック

ファイブフォース分析において、企業の競争力に影響を与える五つの要因として、新規参入者の脅威、バイヤの交渉力、競争業者間の敵対関係、代替製品の脅威と、もう一つはどれか。

- ア サプライヤの交渉力                      イ 自社製品の品質  
ウ 消費者の購買力                      エ 政府の規制

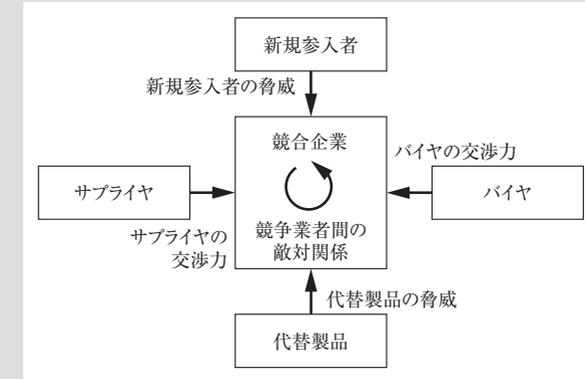
問 14 正解 完璧 直前チェック

経営戦略に用いるCSF分析で明らかになるものはどれか。

- ア 業界内の競争に影響する要因と、自社の強み  
イ 競争環境の脅威と機会、企業の強み・弱み  
ウ 成功するための重要な機能や特性  
エ 保有する事業の成長性と収益性

問 13 ア

**解説** ファイブフォース分析は、企業の競争力に影響を与える五つの要因として、マイケル・E・ポーターが著作『競争の戦略』のなかで以下のように分類したものである。五つの要因を個々に、そして要因間を総合的に分析することで、業界における競争関係を明らかにすることが可能となる。



**新規参入者の脅威**：参入障壁の高さにより決まる脅威。障壁が高いと競争は生じにくく、障壁が低いと競争が激化する。

**代替製品の脅威**：既存製品とは異なる製品であるが、既存製品と同等以上の価値を提供するものによる脅威。

**競争業者間の敵対関係**：既存の市場での競争業者との関係。業界内に競争業者が多い場合に競争が激しくなる。

**サプライヤの交渉力**：製品の独自性、サプライヤの寡占状態、需給バランス等によって決まる交渉力。特有技術の製品で供給量が少ない場合は、サプライヤの交渉力が強くなる。

**バイヤの交渉力**：製品の価格と品質やバイヤの情報量等によって決まる交渉力。製品の差別化がなく、買い手の情報量が多い場合はバイヤの交渉力が強くなる。

問 14 ウ

**解説** 事業成功要因 (CSF : Critical Success Factor) 分析は、企業の差別化、優位性の確立など、企業が成功するための要件を明らかにする手法である。

ア：アドバンテージマトリクスの特徴である。

イ：SWOT (Strengths Weaknesses Opportunities Threats) 分析の特徴である。

エ：プロダクトポートフォリオ分析の特徴である。

問 15 正解  完璧  直前チェック

カープアウトの説明として、適切なものはどれか。

- ア 企業の経営者などが自社の株式や事業部門を買収すること
- イ 競争相手に知られたくない技術を、特許取得せずノウハウとして社内に秘匿すること
- ウ 自社の事業の一部を戦略的に切り出し、埋もれた技術や人材を社外の別組織として独立させること
- エ 製造委託契約を締結し、外部から完成品を調達すること

問 16 正解  完璧  直前チェック

製品のロードマップに従って製品を開発していく場合に、プロダクトライン開発を適用する利点はどれか。

- ア 技術者個人の力を組織力よりも重視するので、成熟度が低い組織でも製品開発に成功しやすい。
- イ 品質が安定した資産を再利用していくので、品質が安定した製品を低いコストで開発できる。
- ウ ロードマップ上の各製品を完全に独立して開発していくので、一つの製品の不具合が他の製品に波及することがない。
- エ ロードマップ上の最初の機種の開発開始時に、開発環境を準備するなどの初期投資が不要なので、市場への新規参入が容易になる。

問 17 正解  完璧  直前チェック

TOC (Theory of Constraints) の特徴はどれか。

- ア 個々の工程を個別に最適化することによって、生産工程全体を最適化する。
- イ 市場の需要が供給能力を下回っている場合に有効な理論である。
- ウ スループット (=売上高 - 資材費) の増大を最重要視する。
- エ 生産プロセス改善のための総投資額を制約条件として確立された理論である。

問 15 ウ

**解説** カープアウト(事業分離)は、企業が事業の一部を切り出し、人材を社外の別組織として独立させることである。カープアウトした会社は、元会社との関係を維持しつつ、ほかの会社から資金を調達することができるといったメリットがある。

ア: MBO (Management Buy Out) の説明である。

問 16 イ

**解説** プロダクトライン開発は、複数のプロジェクトで継続的に利用する共通コンポーネントを開発し、それらを再利用することによって開発期間の短縮や品質の安定化など、低コストでの開発が可能となる手法である。

ア: 複数のプロジェクトを同時に実行することなどが必要であるため、組織力が重要となる。成熟度の低い組織では失敗しやすい。

ウ: 共通のコンポーネントを利用するため、一つの製品の不具合がほかの製品に波及する。

エ: 最初の機種開発時は、初期投資が必要である。

問 17 ウ

**解説** TOC (Theory of Constraints) は、制約条件の理論と訳される。生産工程のボトルネックを制約条件として、生産の最適化のためには工程スケジュールをボトルネックに合わせるか、ボトルネック工程を重点的に改善するという考え方である。

ア: TOCでは、個々の工程ではなくボトルネック工程を重点的に管理することを述べている。

イ: 需要 < 供給となっている場合は、需要の創出か供給の調整が行われる。

エ: TOCの制約条件はボトルネック工程である。総投資額を制約条件とするものではない。

問 18 正解  完璧  直前チェック

ある会社の生産計画部では、毎月25日に次の手続で翌月分の計画生産量を決定している。8月分の計画生産量を求める式はどれか。

〔手続〕

- (1) 当月末の予想在庫量を、前月末の实在在庫量と当月分の計画生産量と予想販売量から求める。
- (2) 当月末の予想在庫量と翌月分の予想販売量から、翌月末の予想在庫量が翌々月から3か月間の予想販売量と等しくなるように翌月分の計画生産量を決定する。

I6	6月末实在在庫量				
I7	7月末予想在庫量	P7	7月分計画生産量	S7	7月分予想販売量
I8	8月末予想在庫量	P8	8月分計画生産量	S8	8月分予想販売量
				S9	9月分予想販売量
				S10	10月分予想販売量
				S11	11月分予想販売量

$I_n$  :  $n$ 月の月末在庫量       $P_n$  :  $n$ 月分の生産量       $S_n$  :  $n$ 月分の販売量

- ア  $I6 + P7 - S7 + S8$                       イ  $S8 + S9 + S10 + S11 - I7$   
 ウ  $S8 + S9 + S10 + S11 - I8$               エ  $S9 + S10 + S11 - I7$

問 19 正解  完璧  直前チェック

HEMSの説明として、適切なものはどれか。

- ア 太陽光発電システム及び家庭用燃料電池が発電した電気を、家庭などで利用できるように変換するシステム
- イ 廃棄物の減量及び資源の有効利用推進のために、一般家庭及び事務所から排出された家電製品の有用な部分をリサイクルするシステム
- ウ ヒートポンプを利用して、より少ないエネルギーで大きな熱量を発生させる電気給湯システム
- エ 複数の家電製品をネットワークでつなぎ、電力の可視化及び電力消費の最適制御を行うシステム

問 18 イ

**解説** 生産量と在庫量は次のように求められる。

生産量 = 予想販売量 + 在庫量, 在庫量 = 生産量 - 予想販売

7月末予想在庫量 (I7) = 6月末实在在庫量 (I6) + 7月分計画生産量 (P7) - 7月分予想販売量 (S7)

$$I7 = I6 + P7 - S7 \quad \dots \text{①}$$

この式を、生産量を求める式に置き換える。

$$P7 = I7 + (S7 - I6) \quad \dots \text{②}$$

これをさらに8月の式に置き換える。

$$P8 = I8 + (S8 - I7) \quad \dots \text{③}$$

問題文(2)から、次式が導かれる。

$$I8 = S9 + S10 + S11 \quad \dots \text{④}$$

この式④を式③に代入する。

$$\begin{aligned} P8 &= S8 + ((S9 + S10 + S11) - I7) \\ &= S8 + S9 + S10 + S11 - I7 \end{aligned}$$

問 19 工

**解説** HEMSは、住宅向けのエネルギー管理システムである。複数の家電製品をネットワークでつなぎ、電力の可視化や消費電力の最適制御を行うシステムである。ほかにも、BEMS(商用ビル管理システム)、FEMS(工場向け管理システム)、CEMS(地域管理システム)がある。

ア：パワーコンディショナの説明である。

イ：家電リサイクルシステムの説明である。

ウ：ヒートポンプ給湯システムの説明である。

問 20 正解 完璧 直前チェック

コンピテンシモデルの説明はどれか。

- ア 権限行使と命令統制による労務管理を批判し、目標管理制度や経営参加制度などによる動機付けが有効であるとしたもの
- イ 最適なリーダーシップの唯一のスタイルは存在せず、望ましいリーダーシップのスタイルは、状況に応じて異なるとしたもの
- ウ 人材の評価や育成の基準とするために、恒常的に成果に結び付けることができる個人の行動や思考特性を定義したもの
- エ 人間の基本的欲求を低次から、生理的欲求、安全の欲求、所属と愛の欲求、承認の欲求、自己実現の欲求としたもの

問 21 正解 完璧 直前チェック

マトリックス組織を説明したものはどれか。

- ア 事業部制組織と職能制組織との両方の特徴を生かそうとする組織である。
- イ 新事業開発のために社内に独立した活動単位として設置し、小さな企業であるかのように運営する組織である。
- ウ 製品群などを事業単位として構成し、事業単位ごとに意思決定を行う組織である。
- エ 専門性を生かした組織であり、研究開発、製造、販売、人事・総務、経理・財務のような職能別に構成された組織である。

問 22 正解 完璧 直前チェック

ROE (Return On Equity) を減少させるものはどれか。

- ア ROAの増加
- イ 自己資本比率の増加
- ウ 総資本回転率の増加
- エ 当期純利益率の増加

問20 ウ

**解説** コンピテンシモデルは、高いパフォーマンスを発揮する際、人材の行動・思考特性をモデル化したものである。企業では、特に好業績を上げる人材がいた場合に、その人がどのように考えて行動しているかを具体的に調査し、人材の評価や育成の基準を作ることによって一定の指標とすることができる。

ア：ダグラス・マクレガーが提唱する、XY理論の説明である。

イ：フィードラーが提唱する、コンティンジェンシー理論の説明である。

エ：マズローが提唱する、要求5段階説の説明である。

問21 ア

**解説** マトリックス組織とは、事業部制組織+職能制(部門別)組織で構成される組織である。構成員が自己の専門とする職能部門と、特定の事業を遂行する部門の両方に所属する組織である。

イ：社内ベンチャー組織の説明である。

ウ：業部制組織の説明である。

エ：職能制(部門別)組織の説明である。

問22 イ

**解説** ROE (Return On Equity) は、企業が株主から調達した資本をどれだけ効率的に使用して利益を上げているかを示す財務指標である。投下資本に対する収益性を測定する指標でもある。

株主資本(純資産・自己資本)、利益額÷株主資本(純資産・自己資本)で表される。自己資本比率が増加すると、分母が増加するためROEは減少する。

問 23 正解  完璧  直前チェック

次の条件においてA社の連結損益計算書を作成した場合の連結売上高は何百万円か。

〔条件〕

- ・ A社は、B社の株式の80%を取得している。
- ・ B社は、C社の株式の60%を取得している。
- ・ B社は、D社の株式の20%を取得している。ただし、役員の派遣などはない。
- ・ A社の売上高は、700,000百万円であり、その10%は、B社に対するものである。
- ・ B社の売上高は、350,000百万円であり、その20%はD社に対するものである。
- ・ C社の売上高は、250,000百万円である。
- ・ D社の売上高は、200,000百万円である。
- ・ A社とB社、B社とD社以外の相互間取引はない。

ア 1,230,000      イ 1,300,000      ウ 1,360,000      エ 1,430,000

問 24 正解  完璧  直前チェック

刑法の電子計算機使用詐欺罪が適用される違法行為はどれか。

- ア いわゆるねずみ講方式による取引形態のWebページを開設する。
- イ インターネット上に、実際よりも良品と誤認させる商品カタログを掲載し、粗悪な商品を販売する。
- ウ インターネットを経由して銀行のシステムに虚偽の情報を与え、不正な振込や送金をさせる。
- エ 企業のWebページを不正な手段で改変し、その企業の信用を傷つける情報を流す。

問23 ア

**解説** 問題文の条件から、連結決算の対象となるのはA、B、Cの3社になる。D社はA社の直接の影響下にはないので、A社の連結の対象外となる。

A社の売上高の10%は連結決算対象のグループ会社B社との取引なので、A社の売上高から10%分(70,000百万円)を差し引く。

B社の売上高の20%はD社に対するものであるが、D社は連結決算の対象外なので連結売上高に含まれる。

よって、A社の連結売上高は次のように求められる。

$$700,000 \times (1 - 0.1) + 350,000 + 250,000 = 1,230,000 \text{ [百万円]}$$

問24 ウ

**解説** 電子計算機使用詐欺罪は、電子計算機に虚偽の情報や不正な指令を与えて財産上不法な利得を得たり、他人に利得を与えたりする行為である。銀行のシステムに虚偽の情報を与え、違法な振込を行うことがこれに該当する。

ア：ねずみ講は、無限連鎖講の防止に関する法律に該当する。

イ：特定商取引に関する法律「第12条 誇大広告の禁止」に該当する。

エ：電子計算機損壊等業務妨害罪に該当する。Webページの改造なく侵入のみの場合は、不正アクセス禁止法違反となる。

問 25

正解

完璧



シングルサインオンの実装方式の特徴のうち、適切なものはどれか。

- ア クッキーを使ったシングルサインオンの場合、サーバごとの認証情報を含んだクッキーをクライアントで生成し、各サーバ上で保存、管理する。
- イ クッキーを使ったシングルサインオンの場合、認証対象のサーバを、異なるインターネットドメインに配置する必要がある。
- ウ リバースプロキシを使ったシングルサインオンの場合、認証対象のWebサーバを、異なるインターネットドメインに配置する必要がある。
- エ リバースプロキシを使ったシングルサインオンの場合、利用者認証においてパスワードの代わりにデジタル証明書を用いることができる。

問25

工

**解説** シングルサインオン (SSO : Single Sign-On) とは、ユーザが一度認証を受けるだけで、許可されている全ての機能を利用できるようになる機能のことである。認証対象ごとにIDとパスワードを入力する手間を省くことができ、ユーザが記憶しておく必要のあるID・パスワードの数を減らすこともできる。

ア：クッキーはクライアント上に保存される。

イ、ウ：認証対象のサーバは同じインターネットドメインでもよい。

エ：デジタル証明書やその他の認証要素 (認証トークン、ICカードなど) に対応したシステムもある。